

2007年度上期決算説明資料

2007年10月30日

川崎汽船株式会社

A. 2007年度上期決算概要

A-1 決算概要

A-2 業績のポイント

A-3 部門別業績動向

B. 2007年度業績予想

B-1 下期・通期業績予想

B-2 事業別売上高経常利益予想

B-3 通期業績予想のポイント

B-4 通期部門別業績予想

C. “K” LINE Vision 2008⁺

C-1 経営課題への取り組み

C-2 経営指標の推移

C-3 船隊整備計画の進捗

A. 2007年上期決算概要

A-1. 決算概要

(単位: 億円)

		2007年度			2006年度	前年同期 増減額	前年同期 増減率
		上期実績	公表	公表比	上期実績		
売上高	連結	6,466	6,300	166	5,180	1,286	25%
	単体	5,237	5,000	237	4,100	1,137	28%
営業利益	連結	616	550	66	235	380	162%
	単体	428	350	78	89	339	379%
経常利益	連結	637	590	47	246	391	159%
	単体	438	380	58	120	318	266%
当期純利益	連結	440	430	10	206	235	114%
	単体	298	260	38	102	196	192%
配当	単体	¥12	¥11	¥1	¥9	¥3	33%
為替レート	平均	¥119.64	¥120.00	▲¥0.36	¥115.26	¥4.38	-
燃料油価格	平均	\$353	\$351	\$2	\$337	\$16	-

【 前年同期比 為替変動: 4.38円安 ⇒ +26億円、燃料油価格変動: \$16高 ⇒ ▲21億円 】

A-2. 業績のポイント

<前年同期比> 増収(+1,286億円)・増益(+391億円)

<公表比> 増収(+166億円)・増益(+47億円)

<前年同期比>

(06F上期 246億円、07F上期公表 590億円 => 07F上期 637億円)

増収・増益要因:

- 全部門における営業規模拡大
前年度竣工船 47隻フル稼働
上期 新造船12隻竣工
- コンテナ船欧州向け運賃の修復
- バルク市況の高騰
- 円安効果等

損益変動要因	対前年同期比	対公表比
為替変動	26	▲ 2
バンカー変動	▲ 21	▲ 3
市況変動	385	49
営業規模拡大	162	12
コスト増減	▲ 36	0
その他	15	▲ 9
会計基準変更	▲ 140	0
合計	391	47

A-3. 部門別業績動向

—コンテナ船—



<前年同期比> 売上3,008億円 (+569億円増収)・損益81億円 (+113億円増益)

<公表比> 増収(+108億円)・ 増益(+51億円)

増収・増益要因

- 営業規模拡大

東西航路の増強 (当社最大船型8,000TEU型の投入、
スエズ経由アジア・北米東岸航路開設等)
南北航路の拡充 (欧州・南米東岸、アジア・南米東岸航路の開設)

- 総積高(163.4万TEU)： 堅調な荷動きにより前年同期比+11.6%増
東西航路往航消席率95%超
- 運賃率 (前年同期比改善、公表比改善)

前年同期比	北米	欧州	大西洋	アジア	南北
往航	3%	+29%	▲8%	+11%	+12%
復航	2%	▲14%	+9%	-	-

- 複合輸送進行基準への変更： 影響額▲140億円

A-3. 部門別業績動向

ードライバルクー

<前年同期比> 増収・増益

増収要因

- 営業規模拡大 上期新造船竣工(8隻)
稼動延トシ:92.5百万トシ ⇒ 104.1百万トシ (前年同期比 +12.5%)

増益要因

- 大型船市況:前年度末より続伸。6月に一旦調整局面を迎えたものの、9月以降さらに勢いを強めている。足元では史上最高水準で推移
- 中型船市況:需要底堅く堅調。大型船と同様に足元も強含み
- 小型船市況:セメント・鋼材輸送等の需要増により高値で推移

バルク市況 (太平洋ラウンド)	2006年度 上期実績	2007年度			前年同期比	
		第1四半期	第2四半期	上期実績	増減額	増減率
ケープ(170型)	\$42,000	\$88,000	\$113,000	\$100,500	\$58,500	139.3%
パナマックス(74型)	\$23,500	\$44,000	\$60,000	\$52,000	\$28,500	121.3%
ハンディ(53型)	\$24,000	\$40,000	\$46,000	\$43,000	\$19,000	79.2%

A-3. 部門別業績動向

—自動車船—

<前年同期比> 増収・増益

増収要因

- 営業規模拡大 (昨年度竣工の8隻がフル稼働)
- 積台数(含む欧州域内): 152.2万台 ⇒ 166.4万台 (前年同期比 + 9.3%)
 - 日本・韓国車の需要、自動車メーカー海外生産による堅調な荷動き
 - 中南米・カリブ、中近東・アフリカ向け、三国間輸送が増加

増益要因:

- 輸送能力増強に伴う積高増加
- 荷動きに応じた各航路への最適配船の実施
- 需要の伸びが大きい中国・インド・中近東・南アフリカを結ぶ新サービスの開始
- 中南米・カリブ方面向けの旺盛な貨物需要を取込み

A-3. 部門別業績動向

－エネルギー資源輸送－

<前年同期比> 増収・減益

増収要因

- LNG船: 各プロジェクト合計32隻順調に稼働
- 油槽船: 新造VLCC(1隻)、LPG(2隻)が上期中に竣工
前年度下期に竣工した4隻がフル稼働
稼働延^{トシ}1,560万^{トシ} ⇒ 2,000万^{トシ} (前年同期比+28.2%)

減益要因

- 油槽船市況の軟化

油槽船市況 (WS)	2006年度 上期実績	2007年度			前年同期比	
		第1四半期	第2四半期	上期実績	増減額	増減率
VLCC (中東/日本)	105	63	57	60	△ 45	-43.0%
Aframax (南方/日本)	180	153	122	137	△ 43	-23.7%
クレーン7万 ^{トシ} 型 (中東/日本)	205	134	146	140	△ 65	-31.7%

A-3. 部門別業績動向

－その他事業部門－

(内航・フェリー)

＜前年同期比＞ 増収・増益

- － 定期船、不定期船ともに旺盛な需要
- － 燃料油コスト削減の減速運航/サービス改編

(物流事業)

＜前年同期比＞ 増収・増益

- － 堅調な荷動き、ケイラインロジスティクスの海陸空一貫輸送サービス体制が業績に貢献

B. 2007年度業績予想

B-1. 下期・通期業績予想

(単位:億円)

(単位:億円)

		2007年度				
		上期実績	下期予想	通期予想	第1四半期 決算時 公表	増減額
売上高	連結	6,466	6,534	13,000	12,300	700
	単体	5,237	5,263	10,500	9,700	800
営業利益	連結	616	664	1,280	990	290
	単体	428	432	860	600	260
経常利益	連結	637	643	1,280	1,030	250
	単体	438	452	890	640	250
当期純利益	連結	440	400	840	710	130
	単体	298	292	590	420	170
配当	単体	¥12	¥13	¥25	¥22	¥3
為替レート	平均	¥119.64	¥112.50	¥116.07	¥117.50	▲¥1.43
燃料油価格	平均	\$353	\$420	\$387	\$371	\$16

2006年度		
通期実績	増減額	増減率
10,855	2,145	20%
8,573	1,927	22%
614	666	109%
281	579	206%
639	641	100%
319	571	179%
515	325	63%
253	338	134%
¥18	¥7	39%
¥116.91	▲¥0.84	-
\$319	\$68	-

【2007年度年間配当25円、 連結配当性向20%】

【為替変動(年間):1円増減⇒±12億円、燃料油価格変動:\$10/MT変動⇒26億円】

B-2. 事業別売上高経常利益予想

(単位:億円)

事業部門		2007年度			2006年度			増減	
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	通期
コンテナ船	売上高	3,008	3,092	6,100	2,439	2,595	5,035	569	1,065
	経常損益	81	59	140	▲ 32	▲ 47	▲ 78	113	218
その他海運	売上高	2,894	2,976	5,870	2,204	2,480	4,684	690	1,186
	経常損益	524	551	1,075	254	407	660	270	415
その他	売上高	564	466	1,030	537	599	1,136	27	▲ 106
	経常損益	32	33	65	24	33	57	8	8
合計	売上高	6,466	6,534	13,000	5,180	5,675	10,855	1,286	2,145
	経常損益	637	643	1,280	246	393	639	391	641

コンテナ船には代理店、ターミナル事業を含む

B-3. 通期業績予想のポイント

<前年同期比> 増収(+2,145億円)・増益(+641億円)

前提:燃料油価格\$319⇒\$387、為替¥116.91⇒¥116.07 市況改善、規模拡大

<公表比> 増収(+700億円)・増益(+250億円)

前提:燃料油価格\$371⇒\$387、為替¥117.50⇒¥116.07 市況改善

(06F 639億円、07F公表 1,030億円 ⇒ 07F 1,280億円)

損益変動要因	対前年比	対公表比
為替変動	▲ 10	▲ 17
バンカー変動	▲ 177	▲ 42
市況変動	763	245
営業規模拡大	280	93
コスト増減	▲ 108	▲ 19
その他	33	▲ 10
会計基準変更	▲ 140	0
合計	641	250

【為替変動(年間):1円増減⇒±12億円、燃料油価格変動(年間):\$10/MT変動⇒26億円】

B-4. 通期部門別業績予想

<コンテナ船>

前期比：売上6,100億円(+1,065億円増収)・経常利益140億円(+218億円増益)

公表比： 増収(+300億円)・ 増益(+145億円)

概況： 下期も荷況は好調を維持、需給はタイトに推移

積高： 324万TEU (前年比 +10%の増加を見込む)

運賃率：	前年比	北米	欧州	大西洋	アジア	南北
	往航	+3%	+34%	▲5%	+12%	+6%
	復航	+2%	▲3%	+9%	+1%	+2%

B-4. 通期部門別業績予想

<自動車船> 安定推移

荷動きは引き続き堅調に推移

荷動きに応じた最適船型投入による効率配船、営業規模拡大・サービス拡充

<ドライバルク> 業績改善

引き締まった船舶需要を背景とした市況の高値圏での推移

新造船の竣工による営業規模拡大 (2007年度総計 10隻竣工)

バルク市況 (太平洋ラウンド)	上期実績	直近市況	下期見込
ケープ(170型)	US\$100,000	US\$190,000	US\$112,500
パナマックス(74型)	US\$52,000	US\$95,000	US\$60,000
ハンディ(53型)	US\$43,000	US\$73,000	US\$45,000

<エネルギー資源輸送> 伸び悩み

LNG船: 既存船隊は引き続き安定的に稼動。但し、下期の入渠に伴う不稼動を計上予定

油槽船: 新造船竣工による営業規模拡大 (2007年度総計 3隻竣工)

市況の伸び悩みによりアフラマックス・製品船収支低迷

油槽船市況 (WS)	上期実績	直近市況	下期見込
VLCC (中東/日本)	WS 60	WS 60	WS 70
Aframax (南方/豪州)	WS 137	WS 115	WS 120
クーン7万トﾝ型 (中東/日本)	WS 140	WS 120	WS 135

C. “K” LINE Vision 2008⁺

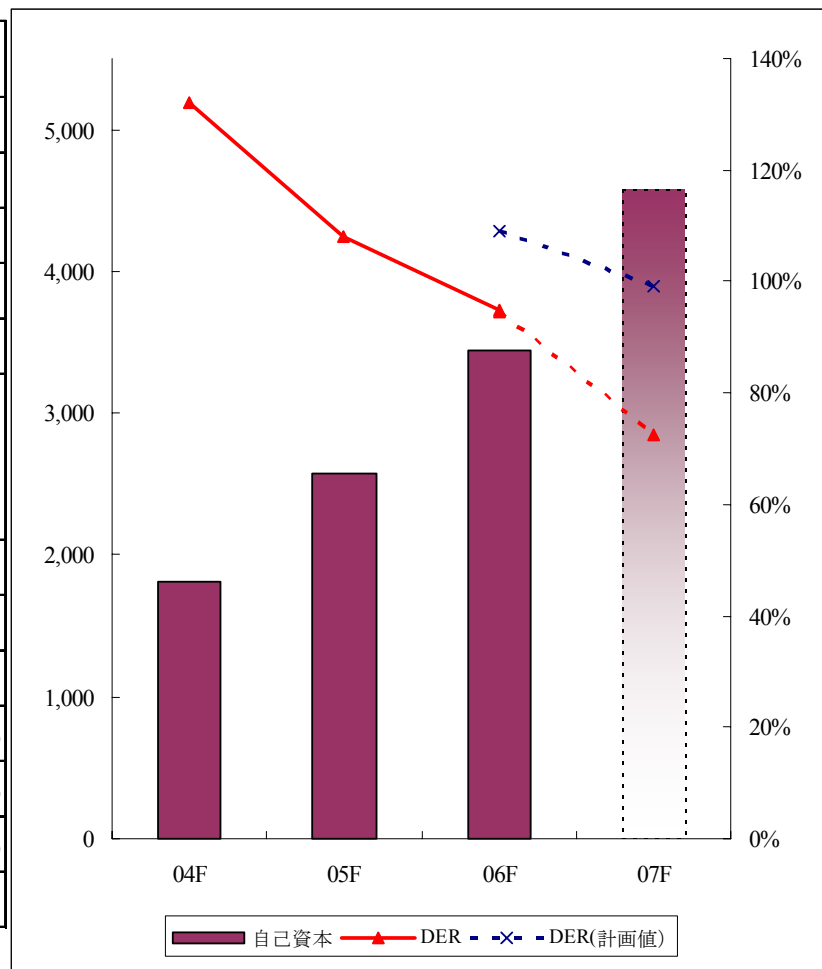
C-1. 経営課題への取り組み

事業規模の計画的拡大と安全運航を支える船舶管理体制の確立

- 事業規模の拡大及びその体制整備
 - ドイツSAL社への資本参加による重量物運搬事業への進出（4月）
 - ブラジル現地法人設立（6月）
 - コンテナ船アジア / 南米東岸サービス開設（南北航路強化）（6月）
 - インド駐在員事務所設置（7月）
 - 4500TEU型コンテナ船10隻発注（7月）
 - アジア / 黒海 直航サービス開設（9月）
- 安全運航を支える船舶管理体制
 - “K” Line Maritime Academy (India)をインド(ムンバイ市)に開設（6月）
 - インドにおける機関士育成のための船員教育機関と提携（7月）
 - 川崎汽船研修所別館竣工（10月）
 - 「LNG船船員研修」、SIGTTOスタンダード認証を取得（10月）

C-2. 経営指標の推移

	2006年度 実績	2007年度 上期	2007年度 見込
売上高	10,855億円	6,466億円	13,000億円
経常利益	639億円	637億円	1,280億円
当期利益	515億円	440億円	840億円
営業CF	665億円	668億円	1,300億円
投資CF	△1,029億円	△471億円	△1,600億円
船舶関連	△1,870億円	△773億円	△1,700億円
その他	△380億円	△118億円	△350億円
資産処分	1221億円	419億円	450億円
フリーCF	△366億円	197億円	△300億円
自己資本	3,445億円	3,989億円	4,577億円
有利子負債残高	3,262億円	3,009億円	3,318億円
ROE	17%	22%	18%
ROA	8%	13%	12%
自己資本比率	38%	42%	42%
DER	0.95	0.75	0.72



C-3. 船隊整備計画の進捗

<船隊整備計画>

2007～2009年度竣工隻数

Vision 2008+において2008年度末
 運航規模500隻体制を目指す。

2006年度は新造船47隻竣工

2007年度は新造船25隻竣工予定

(うち上期に12隻竣工済)

	2007年度		2008年度	2009年度
	竣工隻数		竣工隻数	竣工隻数
コンテナ	3隻	(1隻)	5隻	16隻
1700TEU	2		3	4
2400TEU			1	2
3500TEU				4
4500TEU				1
5500TEU				
6400TEU				2
8000TEU	1	(1)	1	3
バルカー	10隻	(8隻)	13隻	17隻
Capesize	2	(2)	4	7
Panamax	4	(2)		5
Handymax	2	(2)	2	1
SmallHandy	1	(1)	3	2
Chip/Pulp			3	
Corona	1	(1)	1	2
自動車	4隻	(0隻)	5隻	9隻
2000台				
3800台	1			1
4300台				2
5000台				3
6000台	3		5	3
LNG	3隻	(0隻)	13隻	1隻
油槽船	3隻	(3隻)	3隻	5隻
VLCC	1	(1)		3
AFRAMAX			1	1
LR II			1	1
LPG	2	(2)	1	
内航近海	2隻		2	
合計	25隻	(12隻)	41隻	48隻

注) ()内数字は2Q末までの竣工済隻数